

福蔵院 中野区白鷺 1-31-5

僧頼珍が大永元年（1521）に創建したと伝えられご本尊は不動明王。江戸時代には現在隣接している鷺宮八幡神社の別当寺を務めていた。正門を抜けると右手には仏菩薩が13体並んでいます。これは“福蔵院の十三仏”といって、それぞれの仏菩薩が死後の忌日（不動明王＝初七日、虚空像菩薩＝三十三回忌など）をつかさどるもので、室町時代以降に民間で広く信仰され石像で13体そろったものは都内でも非常にめずらしい(案内板)。



福蔵院参道



参道に弘法大師像



山門を過ぎると珍しい13仏



鐘楼堂は昭和38年に完成した



本殿



扁額



創建は康平7年（1064年）鎮座950年を超えた「鷲宮八幡神社」。源頼義（998年～1075年）が前九年の役で奥州の豪族である安倍氏を滅ぼした後、鎌倉街道に面した当地に社殿を建立。八幡神の御神霊を奉祀し、戦勝を感謝し源氏の隆昌を祈願したことがはじまりとされています(境内掲示板)。



六社の合祀殿



健康と長寿を祈願し奉納された力石